

令和2年度

丸三産業株式会社



http://www.marusan-sangyo.co.jp/
〒795-8508 大洲市徳森1349
TEL 0893-23-5131 FAX0893-59-4021

コットン製品、国内シェアNO.1。こだわりの品質で次は世界NO.1を目指す！！

昭和23年以来、コットンで生き、常に波を読み、コットンの新しい市場を拓き、コットンの21世紀を創造する、コットンに特化したモノづくり企業。国内シェアは90%以上を誇り、化粧品から日用品、医療関連商品と多岐にわたる製品を自社で一貫製造できるのも強みの一つだ。水圧だけでコットン繊維をシート状にした「ミラクルコットン」の技術を、競合他社へ提供を行うなど、自社の利益よりも、使って頂くすべての方の満足を最優先されている所に、社長のお人柄が伺える。100%受注生産のみを行っていた、15年程前に比べ、受注予測をして計画的にストックしておき、無駄のない製造計画を立てる事で、残業削減に繋げ、働き方改革にも力を入れている。令和2年度は新たにフレックス制度を導入したりと、世の中の状況に合わせて組合を通じて、働き方改革を推し進めていくそうだ。

今、世界的にマイクロ・プラスチックが海洋生物の健康を害する問題が取り沙汰されていますが、生分解できる「コットン素材」が世界的に注目されていて、丸三産業(株)の未来は明るいと確信しました。

当社の 特徴 と 魅力



ゼロ・エミッション推進中！

工場の屋根に太陽光発電、4人世帯の約200戸分の発電電力、廃棄物をペレット化し、RPFボイラの活用をするなど、地球に優しい、肌にも優しい、日本一のコットン企業として、環境にも配慮した取り組みが多数



70周年記念パーティー！

創立70周年記念。グループ社員700名が全員集まる事はできませんでしたが、グループ社員が合同で行う運動会では、社員の絆が生まれるそうです。



コットンラボで販売していますよ！

丸三産業で作られたコットンを原料にした製品はこんなに沢山



谷田篤志 / 2016年入社
向居未夢 / 2018年入社

★★社員紹介★★

多岐にわたるコットンの製造にかかわる仕事をされている、谷田篤志さんと、向井未夢さんは、同じ高校出身の同級生。谷田さんは高校での会社説明会に参加し、丸三産業を知り、採用担当者の人柄と、モノづくりが大好きだった事もあり入社を決めた。向井さんは、高校卒業後、服飾関係の専門学校に行った後、父親の「丸三産業は安定してるし、これからも伸びる会社だ」との言葉で入社を決めたそうだ。入社してから気づいた会社の魅力を聞いてみると、自分で考える癖がつく環境がある事、事あるごとに、どう思う？どうしたらいいと思う？などと、自分の考えを聞いてくれて、考えが即答できなくても、考えがまとまるまで待つてくれる先輩がいて、考える癖がつく育成が魅力の一つだと、また、産業廃棄物をペレット化して、燃料として使用し、環境の事にも配慮した活動をしている所も魅力だと、お二人は入られるまでは気付かなかった事を、人にも環境にも優しい企業が、大洲にある事を多くの人に知って貰いたいと笑顔で話されていました。

★★社長から一言★★

海外でも「丸三産業のコットンじゃないとね」と言われるように、少しずつシェアを広げ、品質にこだわる丸三産業のコットンを手にとって貰いたいと、3代目の菊池社長。学歴ではキャリアに壁は作らず、努力とやる気があれば、色んなポジションで力を発揮できる土壌が、丸三産業にはあります。高卒採用の女性社員(製造職での採用)が、入社2年が経った頃、営業職にチャレンジする機会を提供、10年経った今では、東京で優秀な営業の一人として頑張ってくれています。これからも、力強く成長を続ける企業として熱意と志のある方を必要としています。人の意見や考えに耳を傾けることができる、素直でポジティブな人と、コットンの21世紀を一緒に創造していけたらと、お話されていたらと、お話されていたらと、お話されていたらと。



代表取締役社長 菊池 元宏